

支部長 池田伊三郎(S54年卒)

中郡支部の会員は、中郡大磯町と中郡二宮町在住の校外会員と、校内会員である両町の公立の小・中学校の教員、及び両町内の教育行政機関所属の職員から構成されています。

大磯町の公立学校は、小学校が2校（大磯小学校：学級数28・児童数869、国府小学校：学級数23・児童数698／分校：学級数2・児童数3）で、中学校も2校（大磯中学校：学級数14・生徒数397、国府中学校：学級数12・生徒数345／分校：学級数5・生徒数10）であり、二宮町は、小学校3校（二宮小学校：学級数22・児童数622、一色小学校：学級数12・児童数252、山西小学校：学級数15・児童数407）、中学校2校（二宮中学校：学級数14・生徒数398、二宮西中学校：学級数11・児童数275）です。（平成28年5月1日現在）

会員数は大磯町・二宮町あわせて65人で、うち、校外会員数は31人です。

現職である校内会員のうち、教員は32人で、これは、中郡の公立小・中学校の教員数全体の約11%に当たります。ここ数年は、どの小・中学校でも、母校の卒業生の教員の着任がほとんど見られず、会員数漸減の傾向にあります。

中郡支部の主な活動は、友松会の各種事業（「総会」、「ホームカミングデイ・豊かな教育を語る会」、「新春の集い」、等）

への参加、及び支部総会です。

平成28年度の中郡支部総会は、平成28年9月10日（土）に、友松会芦川会長様を来賓にお迎えして二宮町で開催致しました。中郡支部では、毎年支部総会の中で校内会員からの研究・研修報告を基にした研究会を行っていますが、今年度は、二宮中学校の和田教頭より「短期民間企業研修で学んだこと」として、三菱商事株式会社での研修をテーマとした報告が行われ、学校教育に関わる者にとっても大変示唆に富んだ知見を得ることができました。

中郡は、大磯町も二宮町も海と山に面した自然豊かな地域であり、大磯町は昔から海水浴場発祥の地として名高く、二宮町は、近年、菜の花と眺望が人気の吾妻山が脚光を浴びており、首都圏近郊の観光地としての側面も見逃せません。両町とも、海も山もJR東海道線の大磯駅・二宮駅の近くにあり、また、名所旧跡も、ほぼ徒歩圏内に点在しているという好立地です。他支部会員の皆様も、機会がありましたら是非お越し頂ければと存じます。

中郡支部は小さな支部ではありますが、これからも、校外会員と校内会員との親密なつながりを大切にし、同窓の絆を深めるとともに、友松会の末永い充実、及び母校の隆盛のために、着実な活動を積み重ねてまいりたいと存じます。